

ダンプが徐行するようになった！

住民の声を市にぶつけ、改善させました

日本共産党



洋品店前のカーブはまるで工事現場

横田から馬來田方面にのびる国道409号線。いま、ダンプが行き交い、沿道住民の平穏な生活を脅かしています。もともと、道路が狭い上に、カーブもあるため大型車どうしがすれ違うときは、家

の軒先をかすめていきます。(左写真) 現在、木更津市下郡に圏央道(首都圏中央連絡自動車道路)のインターチェンジ建設工事が進められているためです。

アンケートに寄せられた声に応え、しのざき典之議員すぐ動く

日本共産党が実施したアンケートに、住民のみなさんから「毎日、毎日ダンプが行き交うし、家にいても落ち着かない。何とかしてほしい。ルートは変えられないのか」という声が寄せられました。

自らもこの道路をよく通る日本共産党の篠崎典之市議は、「とにかく、現場にきて、市民の声を聞くべ

きだ。その上で対策を検討してほしい」と千葉国道事務所などに掛け合い、8月5日に、千葉国道事務所担当、市役所土木課長らが現場にきて沿道市民の声を聞きました。

これまでの説明では、建設工事は年内は続くとのことですが、沿道市民のストレスを増大しないように、ルート変更やスピードダウンのダ

ンプ業者への指導徹底など可能な手段を講じるように改めて要請しました。土木課長はガードマンを配置する、「徐行」の看板を立てる、ダンプ業者に指導すると約束しました。

「徐行」看板が設置されダンプも徐行

その後、もっとも危険な洋品店の軒先に3枚の反射型の「徐行」看板が設置され(右写真)、住民のみなさんも「ダンプが徐行するようになった」と喜んでいきます。

しかし、約束の「ガードマン配置」はまだされておらず、危険な状態は依然として続いています。ダンプの

徐行もいつまで続くか分かりません。

篠崎市議は「ダンプや大型車による被害が起きないように今後も市への要望や監視を強めますので、お気づきのことがあればご連絡下さい」と話しています。



設置された「徐行」看板

身近に役立つ相談相手



市議会議員
しのざき典之
三箇在住(75-3996)

日本共産党の2議席確保で「北側開発」よりも市民生活を!

みなさんの願い実現のため
これからもがんばります

高すぎる国保税を一世帯2万円引き下げ
住民の意見にもとづいて、ガウラ号をもっと便利に
街路灯の増設など、防犯対策強化
君津中央病院行きバス便の新設

袖ヶ浦民報 9月号外

日本共産党袖ヶ浦市委員会の見解をお知らせします。
ご意見をお寄せください。 0438(60)2234



日本共産党演説会

9月26日(日)午後2時
袖ヶ浦市根形公民館
弁士 小池晃 参議院議員
地元からの送迎もあります